（別記）

令和８年度佐用町地域農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

１　地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

＜現　状（R7）＞

町内の水田面積は約 1,310ha である。うち主食用米の作付は約 46%（607ha）を占め、水稲が本町の基幹作物となっている。キヌヒカリ・コシヒカリ・ヒノヒカリ等主食用品種に加え、酒造好適米である「白鶴錦」を酒造会社との契約により作付けている。

米以外の作物では、面積が大きいのは大豆（88ha）である。特に本町において推奨している「佐用もち大豆」（品種銘柄「夢さよう」）は 68ha の作付があり、主に町の特産物加工品（味噌・豆腐等）の原料として用いている。

このほか集団転作として、本町で振興している畜産業と連携した飼料作物（28ha)、当町の町花で、夏のイベントの主役であり、食用油の原料であるひまわり（15ha)、大豆との組み合わせで生産する小麦（14ha)、特産として食堂を営む農業法人にて提供しているそば（7ha)、及び蜂蜜の蜜源として栽培されるみつ源作物（27ha）が主要な作物である。

また個別の転作として、なすやインゲン・ジャンボピーマン・自然薯・こんにゃく芋・枝豆（黒大豆)・チンゲンサイなどの野菜類や薬用作物を特産物として振興している。

一方、本町の農業構造は、小規模兼業農家が多数を占めているものの、1 戸当たりの経営規模は約 57a となっており、高齢化等による離農が進み、大規模農家や集落営農による集約化が進んでいる。また、シカやイノシシ等による被害も多く、その対策に追われている。

＜課　題＞

（1）　獣害被害の多発

有害鳥獣の駆除活動を強化する必要がある一方、電気柵やワイヤーメッシュ等による防護対策を徹底するよう、引き続き推進する必要がある。

（2）　農家の高齢化や後継者の不足に起因する不作付地の増加

不作付地の増加を未然に防ぐために、地域計画や農地中間管理機構を活用し、担い手等の経営の安定や生産力強化を図ることにより、農地の保全を進める必要がある。

（3）　需要に応じた米生産

特定の需要のある特別栽培米のコシヒカリや契約栽培米としての白鶴錦の生産を推進していく。また加工用米等他品目への転換を推進することで水田面積の維持を図っていく必要がある。

（4）　特産物として位置づけられる地域振興作物の作付維持

町の特産物の加工に影響するほか、町外加工業者等との実需の結びつきにも影響すると考えられることから、特産物の作付を維持していく必要がある。

２　高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

本町の農業は、米作が中心で、その他地域振興作物として麦、大豆のほか、ひまわり、そば、ナス、ジャンボピーマンなどの栽培にも取り組んでいるが、消費の減少、農作物の価格低迷、有害鳥獣による農作物への被害増大などの影響を受け、農業生産量は年々減少している。また相対的に規模が小さく、競争力の強い産品ももたないことから厳しい状況が続いている。

本町においては、「佐用もち大豆」が地理的表示（GI）として国に登録されたことを契

機とし、地域風土と結びついた良品質の大豆として規模を拡大することで、競争力を強めていく。

３　畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

近年高齢化への拍車がさらに進み、担い手である若者の減少もあいまって、高齢または零細な農業者が次第に経営から離れているなか、認定農業者や集落営農など地域の担い手に農地の集積・集約を一層推進する。

また担い手や集落営農にも集約されていない日当たりや未整備田等の条件の悪い土地については、水田台帳等を活用し作付体系を定期的に点検し、状況の把握に努める。

佐用町は、山際の農地が多く、急激な畑地化によって農地の原野化が進みやすくなる恐れがあるため、畑地化については慎重に精査し、米麦大豆の 2 年 3 作のブロックローテーション体系の構築を基本とし、畑作物のみを生産し続けている水田についてのみ畑地化支援を活用した畑地化等を検討する。

４　作物ごとの取組方針等

(1)　主食用米

令和 7 年産主食用米（酒造好適米を除く）は、607ha と水田面積の半数近く占める基幹作物となっている。

今後は、生産者等が自らの経営判断で需要に応じた生産を行うことが必要とされてくる。農協には地元産米への需要がある。作付が減少している集落もあるものの、減反のため作付率を抑えて稲作をしてきた集落も多く、そのような集落においては今後作付面積の増加が見込まれる。また、稲作は転作作物と比較し労力がかからないため、高齢化の進む集落でも作付けしやすいことから、令和 8 年産は 610ha を見込む。

また、産地間競争に打ち勝つため、ブランド米である特別栽培米コシヒカリの推進を図る。

酒造好適米については令和 6 年度までは徐々に面積を拡大していたが、令和 7 年度は主食用米への移行により減少し、酒造会社と契約栽培を実施している「白鶴錦」は、約 44ha となっている。

令和 8 年産以降も契約相手の酒造会社に安定供給できるよう栽培を継続していく。

栽培契約の推進により、出荷先の確定した安定的な水稲栽培が可能となる。

（２）　備蓄米

農業者の意向により対応する。

（３）　非主食用米

ア　飼料用米

現状は、18ha の生産があり、集荷業者と結びついた生産である。今後も契約栽培を基本とし、需要の安定供給を図る。

イ　米粉用米

農業者の意向により対応する。

ウ　新市場開拓用米

農業者の意向により対応する。

エ　WCS 用稲

現状は、15ha であり、地域の畜産農家と結びついた生産である。今後も地域の畜産農家との契約（畜産農家の自家利用を含む）を基本とし、需要の安定供給を図る。

オ　加工用米

加工用米は、現状は 16ha の生産がある。特産「もち大豆みそ」の原料として、また県内の米穀酒造会社から掛け米としての需要がある。新たな機械装備や生産技術等が不要であり、かつ、麦・大豆が適さないような湿田でも作付が可能であることから、主食用米からの転換作物として作付を推進する。

（４）　麦、大豆、飼料作物

現状の作付面積は、小麦 19ha、大豆 88ha であり、ブロックローテーションにより団地化・土地利用集積を進め、生産を行っている。小麦・大豆は自給率を向上させるうえで重要な品目である。

出荷先としては、小麦は製粉会社との契約栽培、大豆は町内加工所にて、味噌や豆腐などの特産加工品として、製造と販売を行っており、特定需要がある。この重要な作物の作付面積を確保するため、既に栽培に取り組む集落営農組織については集落内での作付面積の維持を図り、担い手農家については、大型機械を導入し作業効率を向上しながら規模拡大を図ることができるよう、団地・集積化を推進する。

この取組に当たっては、需要者とのマッチングの強化による販売先の確保、適地適作と排水対策の徹底などによる品質の向上や収量の確保を基本に、担い手等による作付拡大を推進する。

ア　小麦

農協への出荷が大部分であり、製粉会社に供給されている。需要に応え、団地化・土地利用集積を推進するには欠かせない作物であることから、今後も作付を推進していく。

イ　大豆

町内で生産される白大豆「夢さよう」は「佐用もち大豆」と呼ばれ、佐用町にしかない在来大豆として昭和 63 年から特産化されてきたもので町内で独自系統を守り、原種や種子の管理も行っている。大粒で甘みが強く、煮豆にしたときの強いもちもちとした食感等の優れた特徴があり、加工に適した大豆として大きな需要がある。現在も町内で栽培されている白大豆のほとんどが「佐用もち大豆」であり、町の特産物として重要な位置づけにある。「佐用もち大豆」が地理的表示として国に登録されたことを契機に、今後も、地域風土と結びついた良品質の大豆として作付を推進していく。

また、汚粒の原因となる帰化雑草対策を実施し、品質向上に努める。

ウ　飼料作物

現状の作付実面積は 39ha であり、地域の畜産農家と結びついた生産を行っている。地域の畜産農家との契約（畜産農家の自家利用を含む）を基本とするため、畜産農家、飼養頭数に限りがあるため、今後においても作付面積は現状を維持しつつ、安定供給を図る。また、耕畜連携による資源循環の取組も 16ha で行われている。

（５）　そば、なたね

ア　そば

現状の作付面積は 7ha である。生産されたそばは、町内にある「そば処」を営む農業法人が全量買い取る契約栽培を実施しているため、売り先の確保はできている。また、近年の高温化や作付時期が台風の時期と重なるため、凶作の年が度々あったが、高温対策・排水対策の徹底などにより収量・品質の確保を推進する。

（６）　地力増進作物

農業者の意向により対応する。

（７）　高収益作物

現在、当町が振興している野菜等は、なす・インゲン・ジャンボピーマン・自然薯・枝豆（黒大豆）・チンゲンサイ・こんにゃく芋・薬用作物である。

枝豆（黒大豆）は、毎年周辺地域や都市部から直接足を運び購入されるほどの人気商品となっていることから、農家の経営安定につながっている。

しかしながら、高齢化や後継者の不足から生産者の人数・栽培面積が減少している。このため、産地交付金を活用し、生産部会後継者を育成し、栽培面積の微増を図る。

５　作物ごとの作付予定面積等　～　８　産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

※　農業再生協議会の構成員一覧（会員名簿）を添付してください。

別紙

５ 作物ごとの作付予定面積等

（単位:ha）

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和８年度の作付目標面積等	
		うち二毛作		うち二毛作		うち二毛作
主食用米	607		610		600	
備蓄米						
飼料用米	18		18		29	
米粉用米						
新市場開拓用米						
WCS用稲	15		15		3	
加工用米					16	
麦	14		14		23	5
大豆	88		88		96	15
飼料作物	39		39		45	32
・子実用とうもろこし						
そば	7		6		8	
なたね						
地力増進作物						
高収益作物	3		3		4	
・野菜	3		3		3	
・花き・花木						
・果樹						
・その他の高収益作物					1	
その他	42		42		42	
・ひまわり	15		15		14	
・みつ源作物	27		27		28	
畑地化	1		1		1	

６ 課題解決に向けた取組及び目標

整理番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績）	目標値
1	麦・大豆の二毛作	麦・大豆二毛作加算（二毛作）	取組面積拡大	（令和７年度） 17	（令和８年度） 21
2,3	麦	団地化・土地利用集積加算（麦）（基幹・二毛作）	取組面積拡大	（令和７年度） 0	（令和８年度） 8
4,5	大豆	団地化・土地利用集積加算（大豆）（基幹・二毛作）	取組面積拡大	（令和７年度） 62	（令和８年度） 89
6,7	ひまわり（加工用種子）	団地化・土地利用集積加算（ひまわり）（基幹・二毛作）	取組面積拡大	（令和７年度） 15	（令和８年度） 16
8,9	ひまわり（加工用種子）	油料用品種加算（基幹・二毛作）	取組面積拡大	（令和７年度） 15	（令和８年度） 16
10	麦、大豆、飼料作物、飼料用米、米粉用米、WSC用稲、加工用米、そば	二毛作助成（二毛作）	取組面積拡大	（令和７年度） 48	（令和８年度） 57
11,12	飼料作物、WCS用稲	耕畜連携助成（資源循環）（基幹・耕畜連携・二毛作）	取組面積拡大	（令和７年度） 28	（令和８年度） 23
13	そば	団地化・土地利用集積加算（そば）	取組面積拡大	（令和７年度） 5	（令和８年度） 4
14	みつ源作物（みつ源れんげ、みつ源ヘアリーベッチ）	団地化・土地利用集積加算（みつ源作物）	取組面積拡大	（令和７年度） 6	（令和８年度） 4.2
15,16	枝豆（黒大豆）、ジャンボピーマン、自然薯、なす、こんにゃく、チンゲンサイ、青さやインゲン、薬用作物	振興作物助成（基幹・二毛作）	取組面積拡大	（令和７年度） 4	（令和８年度） 4.2
17	そば、みつ源作物（みつ源れんげ、みつ源ヘアリーベッチ）	担い手二毛作助成（そば・みつ源作物）（二毛作）	取組面積拡大	（令和７年度） 21	（令和８年度） 32
18,19	佐用もち大豆	佐用もち大豆加算（基幹・二毛作）	取組面積拡大	（令和７年度） 65	（令和８年度） 78

※　必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。
※　目標期間は３年以内としてください。

7　産地交付金の活用方法の概要

都道府県名：兵庫県

協議会名：佐用町地域農業再生協議会

整理番号	使途 ※1	作期等 ※2	単価 （円/10a）	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	麦・大豆二毛作加算（二毛作）	2	10,000	小麦と大豆の二毛作	溝の設置等の排水対策
2	団地化・土地利用集積加算（麦）（基幹）	1	10,000	麦	団地化及び溝の設置等の排水対策
3	団地化・土地利用集積加算（麦）（二毛作）	2	10,000	麦	団地化及び溝の設置等の排水対策
4	団地化・土地利用集積加算（大豆）（基幹）	1	10,000	大豆	団地化及び溝の設置等の排水対策
5	団地化・土地利用集積加算（大豆）（二毛作）	2	10,000	大豆	団地化及び溝の設置等の排水対策
6	団地化・土地利用集積加算（ひまわり）（基幹）	1	43,000	ひまわり（加工用種子）	団地化及び溝の設置等の排水対策
7	団地化・土地利用集積加算（ひまわり）（二毛作）	2	43,000	ひまわり（加工用種子）	団地化及び溝の設置等の排水対策
8	油料用品種加算（基幹）	1	3,000	ひまわり（加工用種子）	作付面積に応じて支援
9	油料用品種加算（二毛作）	2	3,000	ひまわり（加工用種子）	作付面積に応じて支援
10	二毛作助成（二毛作）	2	14,000	麦、大豆、飼料作物、飼料用米、米粉用米、WSC用稲、加工用米、そば	作付面積に応じて支援
11	耕畜連携助成（資源循環）（基幹）（耕畜連携）	3	12,000	飼料作物、WCS用稲	作付面積に応じて支援
12	耕畜連携助成（資源循環）（耕畜連携・二毛作）	4	12,000	飼料作物、WCS用稲	作付面積に応じて支援
13	団地化・土地利用集積加算（そば）	1	10,000	そば	溝の設置等の排水対策
14	団地化・土地利用集積加算（みつ源作物）	1	17,000	みつ源作物（みつ源れんげ、みつ源ヘアリーベッチ）	溝の設置等の排水対策
15	振興作物助成（基幹）	1	8,000	枝豆（黒大豆）、ジャンボピーマン、自然薯、なす、こんにゃく、チンゲンサイ、青さやインゲン、薬用作物	作付面積に応じて支援
16	振興作物助成（二毛作）	2	8,000	枝豆（黒大豆）、ジャンボピーマン、自然薯、なす、こんにゃく、チンゲンサイ、青さやインゲン、薬用作物	作付面積に応じて支援
17	担い手二毛作助成（そば・みつ源作物）（二毛作）	2	8,000	そば、みつ源作物（みつ源れんげ、みつ源ヘアリーベッチ）	溝の設置等の排水対策
18	佐用もち大豆加算（基幹）	1	5,000	佐用もち大豆	種子更新
19	佐用もち大豆加算（二毛作）	2	5,000	佐用もち大豆	種子更新

※1　二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「○○○（二毛作）」、耕畜連携の場合は使途の名称に「○○○（耕畜連携）」と記入してください。
　　ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。
　　なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「○○○（耕畜連携・二毛作）」と記入してください。
※2　「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。
※3　産地交付金の活用方法の明細（個票）の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。
※4　産地交付金の活用方法の明細（個票）の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。

対象作物一覧表

カテゴリ	区分	作物等名	作物コード	整理番号					
戦略作物	麦	小麦	１００	1	2	3	10		
		小麦（種子用）	559		560			0	
		六条大麦	１０２						
		二条大麦	25		26		26		
		はだか麦	１０６	1	2	3	10		
	大豆	青大豆	１０９						
		白大豆（一般）	6	1	6	5	6	18	19
		白大豆（契約）	１２３						
		白大豆（種子用）	26	15	26	15	28	16	19
		黒大豆	１１０	1	4	5	10		
		黒大豆（種子用）	１１１						
	飼料作物	青刈りとうもろこし	１２４						
		ソルガム（青刈りソルガム、スーダングラス）	１２５	10	11	12			
		わら専用稲	１１３						
		その他青刈り（テオシント、青刈り麦、青刈り大豆、しこくびえ、青刈りひえ）	１２６						
		永年性牧草（オーチャードグラス、チモシー、トールフェスク、メードフェスク、バヒアグラス、アルファルファ、ケンタッキーブルーグラス、アカクローバー、シロクローバー、ペレニアルライグラス リードカナリーグラス、飼料用シバ）	１２７						
		イタリアンライグラス	１２８	10	11	12			
		その他一年性牧草（ギニアグラス、カラードギニアグラス、ローズグラス、パラグラス、パンゴラグラス、ネピアグラス、オオクサキビ）	１２９						
		飼料用根菜類（飼料用かぶ、飼料用ビート）	１３０						
		飼料用穀類（子実用えん麦）	１３１						
		青刈りハトムギ（飼料用）	１３２						
		子実用はと麦	１２１						
		その他飼料作物	１３３						
		その他飼料作物（資源循環非対象）	１３４						
		飼料用青刈り稲	１５７						
	新規需要米	稲発酵粗飼料用稲（専用種）クサノホシ、クサユタカ、クサホナミ、リーフスター、はまさり、ホシアオバ、タカナリ、兵系飼７８号（兵庫牛若丸）、夢あおば	１３５	10	11	12			
		稲発酵粗飼料用稲（その他）	１３６	10	11	12			
	加工用米・そば・なたね	飼料用米	１１６	10					
		米粉用米	１１５	10					
		加工用米	１１９	10					
		そば	１１７	10	13	17			
		なたね	１１８						
その他作物	野菜	きゅうり	２００						
		トマト	２０１						
		なす	２０２	15	16				
		大市なす	２８５						
		ピーマン	２０３	15	16				
		ししとう	２８８						
		トウガラシ	２９３						
		ズッキーニ	２８９						
		かぼちゃ	２０４						
		くり南瓜	２８２						
		いちご	２０５						
		すいか	２０６						
		メロン	２０７						
		キャベツ	２０８						
		キャベツ（裏作転作）	２０９						
		はくさい	２４８						
		はくさい（裏作転作）	２１０						
		さんとうさい	２９２						
		ほうれんそう	２１１						
		オクラ	２６２						
		ハス	２６８						

カテゴリ	区分	作物等名	作物コード	整理番号			
その他作物	野菜	ねぎ	２１２				
		太ねぎ	２６３				
		岩津ねぎ	２６５				
		丹波ひかみねぎ	２６６				
		たまねぎ	２５４				
		たまねぎ（裏作転作）	２１３				
		らっきょ	２９１				
		レタス	２１４				
		レタス（裏作転作）	２６４				
		だいこん	２５６				
		だいこん（裏作転作）	２１５				
		青味だいこん	２８４				
		にんじん	２１６				
		にんじん（裏作）	２８７				
		さといも	２１７				
		れんこん	２１８				
		しょうが（根ｼｮｳｶﾞ）	２１９				
		えだまめ（白大豆）	２２０				
		えだまめ（黒大豆）	２５５	15	16		
		青さやいんげん	２２１	15	16		
		未成熟とうもろこし	２２２				
		食用ばれいしょ	２２３				
		食用かんしょ	２２４				
		尼藷（あまいも）	２８１				
		アスパラガス	２２５				
		きのこ類	２２６				
		ブロッコリー（裏作転作）	２２７				
		ニラ	２２８				
		やまのいも	２２９	15	16		
		未成熟そらまめ	２３０				
		一寸そら豆	２３７				
		しゅんぎく	２３１				
		青さやえんどう	２３２				
		うすいえんどう	２３８				
		かぶ	２３３				
		ごぼう	２３４				
		まくわうり	２３５				
		しろうり	２３６				
		べっちんうり	２８０				
		とうがん	２８６				
		セロリ	２３９				
		食用ばなな	２８３				
		その他つけな類	２４０				
		みつば	２４１				
		パセリ	２４２				
		ふき	２４３				
		しそ	２４４				
		なた豆	２４５				
		うど	２４６				
		キクイモ	２４７				
		チンゲンサイ	２４９	15	16		
		その他中国野菜	２５０				
		その他野菜	２５１				
		加工食品用ばれいしょ	２５２				
		カリフラワー	２５３				
		しろな	２５７				
		こまつな	２５８				
		みずな	２５９				
		ヤーコン	２６０				
		わさび	２６１				
		セリ	２６７				
		その他湛水性作物	２６９				
		モロヘイヤ	２７０				
		バジル	２７１				
		ハーブ	２９０				

カテゴリ	区分	作物等名	作物コード	整理番号	
その他作物	野菜	ニンニク	２７２		
		ニンニク（特産）	２７３		
		みょうが	２７４		
		ゴーヤ	２７５		
		よもぎ	２７６		
		わらび	２７７		
		こごみ	２７８		
		施設野菜	２７９		
	果樹	日本なし	４０１		
		西洋なし	４０２		
		もも	４０３		
		うめ	４０４		
		びわ	４０５		
		かき	４０６		
		くり	４０７		
		いちじく	４０８		
		キウイフルーツ	４０９		
		ゆず	４１０		
		すだち	４１１		
		ブルーベリー	４１３		
		うんしゅうみかん	４１４		
		りんご	４１５		
		ぶどう	４１６		
		レモン			
		おうとう	４１７		
		その他果樹	４１２		
	花き	花き	５００		
		若松	５０１		
		花木	５０４		
		種苗類	５０２		
		芝	５０３		
		ツノナス	５０５		
		カーネーション	５０６		
		ストック	５０７		
		なたね（花）	５０８		
		キク	５０９		
	地力増進作物	キンセンカ	５１０		
		地力増進水稲	６５８		
		とうもろこし（地力）	６５０		
		ソルガム（地力）	６５１		
		クローバー（アカ、シロ）	６５２		
		れんげ（地力）	６５３		
		ヘアリーベッチ（地力）	６５４		
	景観形成作物	その他地力増進作物	６５５		
		コスモス	７００		
		ひまわり（景観）	７０１		
		なたね（景観）	７０２		
		マリーゴールド	７０３		
		れんげ（景観）	７０４		
		そば（景観）	７０５		
		べにばな	７０６		
		チューリップ	７０８		
		ヘアリーベッチ（景観）	７０９		
		その他景観形成作物	７０７		

この他、必要な作物コードがありましたら、ご連絡ください。

カテゴリ	区分	作物等名	作物コード	整理番号			
その他作物	その他	ハトムギ	９００				
		その他雑穀	８００				
		小豆	９０１				
		白小豆	９０５				
		落花生	９０２				
		その他豆類	９０３				
		大納言小豆	９０４				
		薬用作物	８２５	15	16		
		まんねんたけ	８２６				
		うこん	８２７				
		ドクタミ	８４０				
		カワラケツメイ	８４１				
		その他薬用きのこ	８２８				
		香料作物	８２９				
		みつ源れんげ	９１１	14	17		
		みつまた	９１２				
		その他一般作物	８４８				
		ひまわり	８４９	6	7	8	9
		藍	８５０				
		ごま	８５２				
		こうぞ	９１４				
		切花用母樹	９１５				
		その他永年性作物	８２０				
		山椒	８２１				
		朝倉山椒	８２４				
		ユーカリ	８２２				
		たらの芽	８２３				
		たばこ	８３７				
		こんにゃく	８３８	15	16		
		その他特例作物扱い	８３９				
水稲	その他	茶	９３４				
		桑	９３５				
	新規需要米	援助米	９１６				
		試験研究米	９１７				
		新規需要米（輸出用米）	１５４				
		新規需要米（種子）	１５６				
		バイオ燃料用米	１５９				
		新規需要米（その他）	１５５				
	主食用水稲等	新規需要米（枠外酒米）	１６４				
		加工用青刈り稲	１５８				
		直播栽培	１６０				
		有機栽培	１６１				
		その他減収栽培	１６２				
		その他減収栽培（２）	１６３				
		主食用水稲	１５０				
		酒造好適米	１５１				
		種子生産ほ場（種子用米）	１５２				
		備蓄米	１５３				

（注意）
上記以外のコードは使用しないで下さい。